

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

サステナビリティレポート 2025

ダイジェスト編



CREATE VALUE FOR PEOPLE AND SOCIETIES.

保険を、人と社会のために。



経営理念・目指すグループ像

T&D保険グループ経営理念

Try&Discover (挑戦と発見) による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営理念の
実践を通じて、グループの
持続的成長を確かなものへ

共有価値の創造

絶えず変化する人と社会の課題 (社会的課題) は、当グループにとっては 挑戦すべきビジネスチャンス

社会的課題の解決という視点から、事業を通じて、社会にとっての価値と 企業にとっての価値の両方を創造

T&D保険グループの目指す姿

社会と価値を共有し、
持続的に成長する保険グループ

中長年に成長できる企業

事業を通じ社会の発展に貢献し、
その事業を通じて適正な利益を上げる
→社会と経済に価値を生み出す企業

グループストラクチャー 2025年9月3日現在

T&D 保険グループ



Contents

- 1 経営理念・目指すグループ像
- 2 T&D保険グループのあゆみ
- 3 トップメッセージ
- 5 サステナビリティ・マネジメント・アプローチ
- 6 サステナビリティ・アドバイザリー・コミッティ
- 7 **重点テーマ1** 健康で豊かな暮らしの実現
- 10 **重点テーマ2** 多様な人材が活躍できる環境づくり
- 12 **重点テーマ3** 地球環境保全・気候変動の緩和と適応への貢献
- 14 **重点テーマ4** 投資を通じた持続可能な社会への貢献
- 16 社会活動
- 18 外部よりいただいた評価/
T&D保険グループが賛同し支持する原則

T&D 保険グループのあゆみ

社会課題の解決への貢献

2008

● **太陽生命**
必要な保障を自在に組み合わせできる、業界の常識を変える先駆的な保険「保険組曲 Best」発売

● **ペット&ファミリー**
「げんきナンバーわん」発売

2010

● **T&D フィナンシャル生命**
業界初キャッシュ・フロー型一時払終身保険「生涯プレミアム」発売

● **大同生命**
重大疾病のリスクをカバーする、事業継続のための新しい経営者向け保険「Jタイプ」発売

2012

● **T&D フィナンシャル生命**
・平準払保障性商品の販売開始
・来店型ショップチャンネルへ進出

2014

● **太陽生命**
シニアのお客さまの利便性向上に向けた取り組み「ベストシニアサービス」スタート

2016

● **太陽生命**
・業界初「ひまわり認知症治療保険」発売
・シニアのお客さまに最も優しく、お役に立てる生命保険会社へ「かけつけ隊」サービススタート
・従業員・お客さま・社会のすべてを元気にする取り組み「太陽の元気プロジェクト」スタート

2017

● **大同生命**
「健康経営®」の普及に向けた取り組み「DAIDO KENCO アクション」スタート

2018

● **太陽生命**
「ひまわり認知症予防保険」発売

2019

● **太陽生命**
インターネット完結型保険「スマ保険」開始

● **大同生命**
「保険金額」「保険期間」に加え、「保険料と解約払戻金のバランス」を自在に設定できる業界初のオーダーメイド型保険「Lタイプα」「Jタイプα」「Tタイプα」発売

2021

● **太陽生命**
「ガン・重大疾病予防保険」発売

● **T&D フィナンシャル生命**
人生100年時代に向けた資産形成保険「ハイブリッドシリーズ」発売

2022

● **大同生命**
・「会社みんなでKENCO+」発売
・中小企業経営者向けWebコミュニティ「どうだい?」開始

2023

● **大同生命**
「一時金型Mタイプ」発売

2024

● **太陽生命**
「保険組曲 BestMYWAY」シリーズ発売

* 「健康経営®」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営®」はNPO法人 健康経営研究会の登録商標です。

サステナビリティ・ピックス

2005

CSRレポート発行

2006

グループCSR憲章施行

2007

国連責任投資原則 (PRI) 署名/太陽生命

2011

グループCSR委員会設置

2012

国連責任投資原則 (PRI) 署名/T&D アセットマネジメント

2014

21世紀金融行動原則署名

2015

国連グローバル・コンパクト署名

2016

国連責任投資原則 (PRI) 署名/大同生命

2017

TCFD提言への賛同

2019

グループCSR委員会をグループSDGs委員会に改編

2020

グループ人権方針制定

2021

● **グループ長期ビジョン策定**
・グループESG投資方針制定

2022

● **T&D 保険グループサステナビリティステートメント制定**
・RE100に参加

2023

本社ビルで使用する電力を100%再生可能エネルギー化

2024

・グループSDGs委員会をグループサステナビリティ推進委員会に改編
・TNFD Adopterに登録

2025

グループCSR憲章をグループサステナビリティ憲章に改正

経営



太陽生命日本社 (東京都) 1930年竣工



大同生命旧肥後橋本社 (大阪府) 1925年竣工

1893

太陽生命創業

太陽生命の前身である「名古屋生命」は、わが国に現存する生命保険会社の中で4番目に創業しました。

1999

太陽生命・大同生命 全面的業務提携

1999年1月に太陽生命と大同生命が全面的な業務提携を発表し、同年6月にグループ名称を「T&D 保険グループ」に決定しました。

1902

大同生命創業

大同生命は、当時「朝日生命」(現在の朝日生命とは別会社)を経営していた加島屋が主体となっており、東京の「護国生命」、北海道の「北海生命」との合併により創業しました。

2001

T&D フィナンシャル生命T&D 保険グループ入り

太陽生命・大同生命が共同でT&D フィナンシャル生命(旧東京生命)の株式を取得、同社はT&D 保険グループの一員として業務を開始しました。

2002

T&D アセットマネジメント設立

グループの資産運用会社を集約

2004

T&D ホールディングス設立

2004年4月に日本で初めて生命保険事業を中核とする持株会社・株式会社T&D ホールディングスを設立し、東京証券取引所・大阪証券取引所(現 大阪取引所)に上場しました。

2007

ペット&ファミリー損害保険子会社化
T&D ホールディングスが日本ファミリー保険企画(株)(ペット&ファミリー少額短期保険(株))を子会社化(2019年に少額短期保険業者から損害保険会社へ移行)

2019

T&D ユナイテッドキャピタル設立
グループ一体での効果的・効率的な投資体制を構築

2022

All Rightの設立
デジタルツールを活用した顧客基盤の構築

2024

T&D ホールディングス設立20周年



事業を通じて社会課題を解決し、
「共有価値の創造」の実現により
「世の中のしあわせ」を生み出す

株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

森の昌孝

サステナビリティを取り巻く環境

私たちを取り巻く社会環境は日々変化しています。気候変動の深刻化、資源の枯渇、社会的格差の拡大など、さまざまな社会課題が世界的に顕在化しており、社会的に脆弱な立場の人々ほどより苦しい生活を強いられています。生命保険事業という公共性の高い事業をその本業とする当グループでは、社会の構成員である企業体として、さまざまなリスクへのレジリエンスを持つ持続可能な世界を作るために、サステナビリティ経営に取り組むべきであるとの想いを一層強くしています。

また、国際的な開示基準等も整備され、各企業には財務情報と非財務情報を統合的に開示することが求められており、透明性

の向上と説明責任の強化が不可欠となっています。こうした社会的要請と制度的変化を真摯に受け止め、当グループは、サステナビリティを経営の中心に据え、環境・社会・企業統治の各側面において責任ある行動を推進し、ステークホルダーとの信頼関係をより一層深めていきます。

企業の持続的な成長に向けて

T&D保険グループでは、中長期的な目指す姿とその到達に向けた戦略方針を示す、「グループ長期ビジョン『Try&Discover2025』～すべてのステークホルダーのしあわせのために～」のもと、「保険を通じて、「ひとり」から、世の中のしあわせをつくる。ていね

いに向き合い、大胆に変えるグループへ。」という経営ビジョンの実現に向け、「5つの重点テーマ」に取り組んでいます。そのテーマの一つとして「SDGs経営と価値創造」を掲げ、社会的価値の創造を定量的に測る「非財務KPI」を設定し、経済的価値と社会的価値の双方を創出する「共有価値の創造」に取り組んでいます。当グループでは、個人のお客さまではシニア層、法人のお客さまでは中小企業を対象に、お客さまのお役に立つべくさまざまな保障・サービスを提供しています。太陽生命では、「ひまわり認知症予防保険」をはじめとする予防保険シリーズを展開することで、健康長寿社会の実現へ貢献しています。大同生命では、企業やそこで働く方々を保険でお守りすることに加え、健康経営等、中小企業が直面するさまざまな経営課題解決を支援

トップメッセージ

する保障やサービス等を提供することで、日本社会を支える中小企業に伴走しています。その他のグループ会社でもそれぞれの特化したマーケットにおいて独自性・専門性を最大限発揮しており、私たちは事業を通じて社会的価値と経済的価値を同時に生み出し、グループとして成長してきました。

2026年度からは次期グループ長期ビジョンがスタートします。世界の先行きがますます不透明感を増してきている中において、より長期的な視点から社会課題を捉え、当社が目指すべき姿を明確にする必要があると考えます。人口構造やライフスタイルの変化、デジタル化等のメガトレンドを押さえた上で、当グループの特性や強みを生かした事業を展開することで、社会課題の解決に寄与しながら持続的に成長するグループを追求します。

人的資本経営

上述のような当グループの持続的成長を達成するためには、人的資本経営の実践が欠かせません。現在グループではサステナ



ビリティ重点テーマの一つに「多様な人材が活躍できる環境づくり」を掲げ、人的資本の向上に取り組んでいます。「自ら考え、能動的に行動し、期待される成果を出せる自律型人材」を育てるという人材育成方針のもと、グループの成長を牽引するリーダー層の育成や成長のための教育機会の提供、女性の活躍支援等を推進しています。性別に関わらず、すべての従業員が安心していきいきと働くことができるよう、ダイバーシティの推進や健康経営の実践、ワーク・ライフ・バランスの充実などの環境整備も多面的、継続的に進めていきます。次期グループ長期ビジョンでは、これらの取組みを継続しつつ、より一層、グループ一体経営を推進していきます。システムの共同利用、事務の共通化やグループ全体での人的資本運用を検討し、グループ経営資源を最大限活用することで、収益・コストシナジーを追求するとともに、事業戦略に合わせた迅速・最適な人事を実施し、持続的な成長を目指します。

また、欧州諸国を中心に、人権デューデリジェンスを法律で義務化する動きが加速するなど、企業による人権尊重の重要性が高まっています。当グループでは人権尊重の取組みとして、「T&D保険グループ人権方針」を定め、人権デューデリジェンスを毎年実施しています。特に、従業員が十分に能力を発揮できる職場環境の維持・向上のため、「長時間労働」と「ハラスメント」を人権デューデリジェンスの重点確認事項と定め、人権課題の特定と是正に取り組んでいます。

社会課題解決に向けて

企業が持続的に成長するには、地球環境や社会の持続性が前提となります。しかし、気候変動の影響は世界各地で顕在化してお

り、2023年・2024年には2年連続で観測史上最高の平均気温を記録しました。異常気象の頻度と強度が増加し、熱波や豪雨、干ばつによる被害が深刻化しています。国際社会では1.5℃目標の達成に向けた緩和策の強化が急務となっています。経済の発展やサステナブルな社会の実現に向けて、責任ある機関投資家として当グループが果たすべき役割は大きいと考えています。自社のCO₂排出量削減だけでなく、投融資先のCO₂排出量について削減に取り組むべく、投融資先企業とのエンゲージメントにより脱炭素対応の推進を促すとともに、投資等を資金使途とするファイナンス案件への取組みを通じて、気候変動問題に取り組む企業を資金面から後押ししています。

また、社会的な側面からも、人口減少等による地域社会の課題解決に寄与すべく、独立行政法人が行う道路等のインフラ整備事業や地方創生・地域活性化等に向けた事業等に充当するソーシャルボンドへの投資も実施しています。

このように、環境・社会・企業統治に配慮した投融資や、投資先企業とのESG課題等に関する建設的なエンゲージメントを通じて社会課題解決を図り、社会のサステナブルな成長に貢献していきます。

T&D保険グループが目指す姿

サステナビリティ経営に取組み、社会課題を解決していくことは、当グループが目指す「共有価値の創造」を実現し、「世の中のであわせ」を生み出すことにつながるものと考えています。私たちT&D保険グループは、社会とともに持続的に成長する保険グループであることを目指し、これからも一步一步、その歩みを重ねていきます。

サステナビリティ・マネジメント・アプローチ

T&D 保険グループ サステナビリティステートメント

サステナビリティ課題に対する当グループの取組姿勢を表明する「T&D 保険グループ サステナビリティステートメント」を制定し、公表しています。

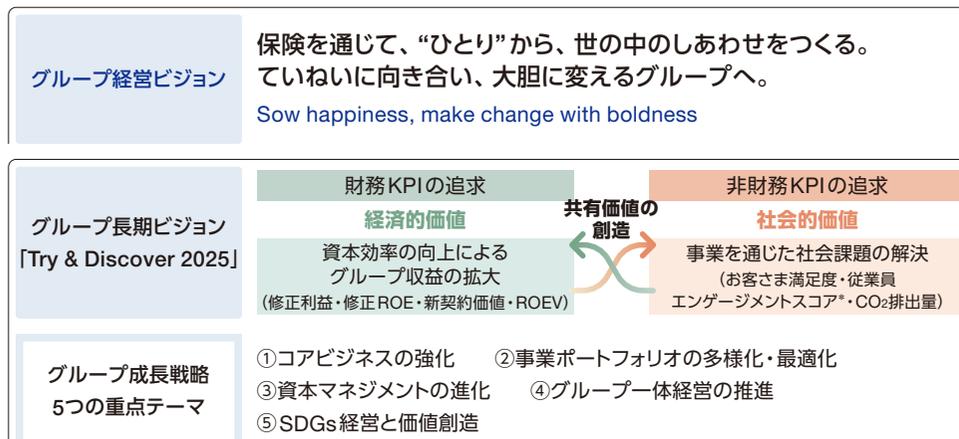
●基本的な考え方

生命保険事業をコアビジネスとするT&D 保険グループは、商品・サービスを通じてお客さまに安心・安全を提供する、サステナブルな事業をその本業としています。また、機関投資家としての資産運用業務は、経済の発展やサステナブルな社会の実現にも密接な関わりを持っており、公共性の高い事業です。当グループは、これらの事業を通じて社会に貢献する責任を有していると考えています。

T&D 保険グループでは2021年5月に「保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。」を経営ビジョンとして掲げ、2025年度に向けたグループ長期ビジョンを策定しました。長期ビジョンのグループ成長戦略・重点テーマの一つを「SDGs経営と価値創造」とし、社会的価値の創造を定量的に測る「非財務KPI」を設定しました。SDGs経営に取組み、社会課題を解決していくことは、当グループが目指す「共有価値の創造」を実現し、「世の中のしあわせ」を生み出すことになるものと考えています。

私たちT&D 保険グループは、社会とともに持続的に成長する保険グループであることを目指し、これからも一歩一歩、その歩みを続けていきます。

T&D 保険グループ 経営ビジョン／グループ長期ビジョン



* 2024年3月期より「従業員満足度」から「従業員エンゲージメントスコア」に名称変更。

●T&D 保険グループのサステナビリティ重点テーマ

T&D 保険グループは、事業活動に関わるさまざまなサステナビリティの分野から、社会にとっての重要度が高く、当グループの事業との関連が大きい重要な社会課題を「SDGsの17の目標と169のターゲット」から抽出し、重点的に取り組む4つのサステナビリティ重点テーマを、以下のとおり定めています。グループ長期ビジョン「Try&Discover2025」においても、テーマごとに事業を通じた取組みを進めています。

重点テーマ1 健康で豊かな暮らしの実現

お客さまのニーズにあった最適で質の高い商品・サービスを提供することにより、保険事業を通じて社会の持続的成長と、社会課題の解決に貢献します。

私たちのターゲット

- 2025年度までお客さま満足度を2020年度水準以上*



重点テーマ2 多様な人材が活躍できる環境づくり

すべての人の人権を尊重するとともに、従業員の人格と多様性を尊重し、健康で安全に働ける環境を確保することにより、人材育成を図ります。

私たちのターゲット

- 2025年度まで従業員エンゲージメントスコアを2020年度水準以上*



重点テーマ3 地球環境保全・気候変動の緩和と適応への貢献

お客さまに保険商品・サービスを提供する自らの事業活動を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献し、ネットゼロ社会の達成、生物多様性の保全にも取り組みます。

私たちのターゲット

- 2025年度までに自社のCO₂排出量を40%削減
- 2030年度までに自社のCO₂排出量を70%削減
- 2040年度までに自社のネットゼロ達成



重点テーマ4 投資を通じた持続可能な社会への貢献

責任ある機関投資家として、環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、長期安定的な収益の確保と持続可能な社会の実現に貢献し、社会とともに持続的に成長することを目指します。

私たちのターゲット

- 2030年度までに投融資先のCO₂排出量を50%削減
- 2050年度までに投融資先のネットゼロ達成



* 記載のターゲットに限らず、総合的な観点から各テーマの達成を図ります。

サステナビリティ・アドバイザリー・コミッティ

2021年度に設置したサステナビリティ・アドバイザリー・コミッティでは、外部有識者から国内外の最新動向の解説とともに、その知見に基づくさまざまな提言をいただいています。当グループは、これら提言をサステナビリティ課題への取組みに反映し、グループ長期ビジョンに掲げる「SDGs経営と価値創造」を推進しています。

サステナビリティ・アドバイザリー・コミッティメンバー



末吉 竹二郎 氏
国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問



吉高 まり 氏
一般社団法人バーチャルデザイナー
代表理事
東京大学教養学部客員教授



青沼 愛氏
一般社団法人 鎌倉サステナビリティ研究所 (KSI) 代表理事
*2025年4月より当コミッティに参加

2024年度サステナビリティ・アドバイザリー・コミッティ:全5回開催

主なテーマ

- 気候危機に関する動向 / COP29
- 人的資本経営の動向と現状
- 地方創生におけるサステナビリティの動向
- インパクト投資の動向

気候変動

コミッティメンバーからの提言

気候変動に関して研究機関が公表する数値は、後戻りできない非常に深刻な状況にあり、国も企業も今後5~10年の対応が重要視されている。また、再生可能エネルギーは、気候変動への対応策としての側面を持つ一方、サプライヤーに対し再生可能エネルギーの導入を要請されるケース等が出てきていることから、今後はビジネスの取引条件としての役割を担うことが考えられる。

対応

当グループでは、ネットゼロ社会の実現に貢献していくため、2024年5月に自社および投融资先のCO₂排出量削減目標の見直しを実施(目標水準の引き上げ、達成時期早期化)。使用電力の再生可能エネルギー由来化を積極的に推進するとともに、トランジションボンド等、脱炭素社会の実現に貢献する投融资を実施している。

地方創生

コミッティメンバーからの提言

地方金融機関においても、持続可能性に着目した地域における新たな事業創造等の取組みを支援する動きもみられている。T&D保険グループが全国に拠点を保有していることを強みと捉え、地方自治体との連携を検討することが地域の課題解決につながると考えられる。

対応

2024年度は当グループのサステナビリティ重点テーマと親和性が高い自治体に対し、企業版ふるさと納税を実施。また、地方創生への貢献を目的に、企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用し社員を派遣。地方自治体の社会課題解決に寄与するべく自治体と検討を継続的に実施している。

人的資本経営

コミッティメンバーからの提言

人的資本経営では、経営戦略と連動した人材戦略をどのように実践するかが課題であり、将来を見据えて採用や育成をどのように図っていくのかが重要である。また、人材投資情報を可視化して示していく取組みも大切である。人的資本開示についても課題は多いが、新しい人材育成をどのように測っていくのかを議論し開示していくことが、今の企業経営にとって重要。

対応

京都大学経営管理大学院 砂川伸幸教授・山田和郎准教授と従業員エンゲージメントスコア調査について共同分析を実施。財務データとエンゲージメントスコアの相関関係を分析・確認し、結果をサステナビリティレポート等で開示している。今後も分析を進め、企業価値向上につながる人的資本戦略の策定への活用を進める。

ESG投資

コミッティメンバーからの提言

一定の投資収益確保を図りつつ、社会・環境的効果の実現を企図する「インパクト投資」など、サステナビリティの課題に着目しつつ投資先の事業の成長を図る広範的な取組みも見られつつある。T&D保険グループの投資家としての独自のポリシーを明確にして、どこにインパクトを起こしたいかを明らかにするべきである。

対応

当グループは、これまでも機関投資家としての投資行動が持続可能な社会の実現に及ぼす影響を考慮し、環境、社会、企業統治に配慮した投資を実施。個別の投資案件ごとに収益性とリスクを見極めながら、着実に累計額を積み上げ、テーマ型投融资累計額は2024年度末時点で11,000億円。

健康で豊かな暮らしの実現

T&D保険グループでは、健康で豊かな暮らしの実現に向けて、社会課題への対応と多様なお客さまニーズに応える最適で質の高い商品・サービスの提供に取り組んでいます。

健康維持の支援

当グループは「健康で豊かな暮らしの実現」を重点テーマに掲げています。生命保険会社として健康維持を支援するため、高齢化や医療費高騰といった社会課題に対応し、予防から万が一の際の保障まで幅広い保障やサービスを提供しています。

●病気やケガなど、万が一の際への備え

当グループでは、さまざまなリスクに備える多様な保障を提供し、人々の豊かな暮らしを支えています。太陽生命では、2024年12月に、より多くのお客さまニーズに対応するため「保険組曲Best」の商品改定を実施し、新シリーズ「保険組曲BestMYWAY」、**「保険組曲BestMYWAY 既成緩和」**を発売しました。



商品改定の主なポイントは以下のとおりです。

- ・認知症の前段階である軽度認知障害 (MCI) に該当した場合の保障を新設
- ・選択緩和型商品等について、3歳から加入できるよう最低加入年齢の引き下げを実施等

●予防保険シリーズ

太陽生命では、「人生100歳時代」を誰もが「元気に長生き」できる社会の実現を目指し、保険を通してお客さまの「予防」への取組みをサポートする「予防保険シリーズ」を展開しています。認知症関連商品*は2025年4月末時点で販売件数が100万件を突破し、シニア層のお客さまに



広く受け入れられているほか、「ガン重大疾病予防保険」も責任世代を中心に多くのお客さまにご利用いただいています。

*「ひまわり認知症予防保険」、「ひまわり認知症治療保険」、「認知症治療保険(軽度介護)」、「増増認知症治療終身保険」、「終身認知症年金(My介護プラス)」の合計販売件数。

●HALFITサービス

大同生命では、CYBERDYNE株式会社の装着型サイボグ「HAL®」を用いたプログラム「Neuro HALFIT®」を3回まで無料でご利用いただけるサービスを、2020年4月より提供しています。「介護リリーフα」などの付帯サービスとしてお届けすることで、要介護状態となった場合の経済的リスクへの備えに加え、介護度の比較的軽い状態の方の重度化防止や自立を支援します。



HAL 下肢タイプ

●大切な家族のために

ペット&ファミリー損害保険では、ペット医療およびその費用への関心の高まりを受け、治療費の一定割合を補償する保険商品を提供しています。2024年3月には、PayPay内の「PayPayほけん」で加入できるペット保険「これだけペット」の提供も開始し、飼い主さまとペットが安心して治療を受けられる環境づくりを支援しています。

Voice 従業員の声



ながおか あや
長岡 文
ペット&ファミリー損害保険
株式会社
お客様サービス本部
損害サービス部

お客さまに早く安心をお届けするために…保険金WEB請求の導入

「大切なペットが病気やケガをしたときに少しでも早く保険金をお支払いし、安心をお届けしたい」との思いから、約半年の開発期間を経て2025年1月より保険金WEB請求を導入しました。

保険金WEB請求では、従来は郵送で提出していただいていた診療明細書の画像を当社マイページ(お客さま向けWEBサービス)にアップロードすることで簡単・迅速に請求手続きが完了します。今では開発当初の予想を上回り保険金請求の半数以上のお客さまにご利用いただいております。お手続きの簡便化とお支払の早期化のニーズがいかに高かったかを実感しています。

引き続きお客さまに寄り添い、社会のニーズにお応えできるサービス提供に努めていきたいと思っております。

健康で豊かな暮らしの実現

高齢化社会の経済的・社会的リスク軽減

高齢化が進む日本社会では、疾病構造の変化や要介護者の増加、認知機能の低下等からトラブルになるケースなども想定されます。T&D保険グループは高齢の方とご家族が安心できる保障・サービスを提供し、一人ひとりの充実した生活を支援しています。

●ベストシニアサービス

当グループ全体で、高齢のお客さまの利便性や満足度の向上に向けた取組みを推進しています。生命保険3社では「ベストシニアサービス」と名付け、さまざまなサービス向上の取組みを展開しています。お申込時のご家族同席の推進や、被保険者本人による請求が難しい場合にあらかじめ指定された方から保険金等をご請求いただける「指定代理請求特約」の付加をご案内しています。また、「ご家族登録制度」を導入し、事前にご登録いただいたご家族によるご契約内容の確認、各種請求書類のお取り寄せを可能としています。また、ご請求漏れ等を防ぐため、一定年齢以上のお客さま等に対して未請求の保険等はないかを定期的に確認し、迅速な保険金等のお支払いに向けた対応を行っています。また接遇面では高齢者対応マニュアルや専用フリーダイヤルの設置など、安心して手続きできる環境づくりに取り組んでいます。

すべての人の社会的・経済的活躍促進

年金財政悪化や教育費・住宅費の増加等により、資産形成への不安を抱える人は多くいます。当グループではお客さまの属性や多様なニーズを踏まえた資産形成型商品を提供し、すべての人の社会的・経済的な活躍を支援しています。

●すべての人の社会・経済的活躍を促進する資産形成型商品の提供

当グループでは、資産形成と保障の両立を目指した多様な商品を展開しています。T&Dフィナンシャル生命は、2024年9月に「ご自身でつかうお金」を受け取りながら「ご家族にのこすお金」を準備できる一時払終身保険「生涯プレミアムワールド6」を発売しました。投資信託と生命保険を融合させた「ハイブリッドシリーズ」では、2021年に円建の一時払変額終身保険「ハイブリッド アセット ライフ」、2022年に「スポット増額」「ドルコスト平均プラス特約」機能を追加した「ハイブリッド つみたて ライフ」、2024年に「おまかせ運用」の機能を追加した「ハイブリッド おまかせ ライフ」、2025年には資産承継や資産管理機能に特化した「ハイブリッド あんしん ライフ2」を発売し、人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートしています。2024年10月に発売



した個人年金保険「ファイブテン・ワールド4」では、将来の年金原資額をより大きく増やすことができる「年金重視コース」を新設し、お客さまのニーズにより幅広くお応えできる商品となりました。

中小企業の設立・成長とそこで働く人々の健康増進の支援

経営者の現役期間の長期化や事業承継、SDGsなどへの関心が高まる中、企業を取り巻く環境やニーズは多様化しています。T&D保険グループでは、日本の産業を支える中小企業をお守りする保障やサービスを提供しています。

●中小企業が抱える人的リスクを幅広くカバーする保障の提供

法人・個人を一体とした合理的な保障（トータル保障）の提案

中小企業は、経営者ご自身の信頼や技術力により成り立っているケースが多くあります。このため、経営者が万一の場合や大きな病気・ケガ等により働けなくなった場合に事業の継続が難しくなることがあります。このような状況に備えて、大同生命では企業・ご家族を守るために必要となる資金（「標準保障額」「生活防衛資金」）を算定し、法人・個人を一体とした合理的な保障（トータルな保障）を提案しています。

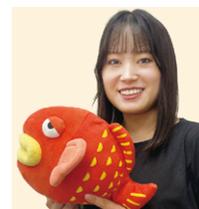
●中小企業の経営課題の解決の支援に向けた取組み

大同生命は、社会課題の解決に取り組む中小企業経営者のためのWebコミュニティ「どうだい?」を2022年3月に開始しました。“相談する”（経営者同士が想いや悩みを共有できるコミュニティ），“学ぶ”（経営者の身近でリアルな事例を紹介），“活用する”（経営を支援する各種サービスを一元的に案内），“つながる”（自社・事業紹介やメッセージ機能の提供）の4つの機能があり、ご契約の有無にかかわらず無料でご利用いただけます。



イメージキャラクター
どうだいくん

Voice 従業員の声



おさきはるか
尾崎 遥香
大同生命保険株式会社
お客さまバリュー開発部
経営支援ソリューション推進課

経営者にぬくもりのある居場所を提供

経営者は孤独だといわれます。そんな経営者の癒しの場として、中小企業が声をかけあうサイト「どうだい?」のコミュニティを運営しています。サイトでは、経営者同士が相談やアドバイスを交わし、同じ立場だからこそ分かり合えるつながりを築いています。また最近では、サイトを飛び出し、一層つながりを後押しできるような女性経営者限定イベントや地方都市での対面交流会を開催。少しずつですが、つながる経営者が増えてきました。今後も全国の経営者にとってなくてはならない存在として、ぬくもりのある居場所となるよう、つながりを大切にしながら運営を続けてまいります。

健康で豊かな暮らしの実現

すべての人の保険金融サービス利用促進（金融包摂）

当グループでは、保険へのアクセスが困難な方々にも安心して利用いただけるよう、多様な取り組みを進めています。大同生命では、日本語の理解が難しい方でも生命保険に加入できるよう、外国語による申込書や説明資料、動画、通訳窓口などを整備しています。また、グループ各社では、認知症サポーターの育成やユニバーサルマナー検定の受講も推進しています。

多様化するお客さまニーズに応えるためデジタル技術活用促進

当グループではライフスタイルの多様化に伴い、デジタル技術やAIを活用した利便性の高いサービスを提供しています。太陽生命は2021年1月にスマ保険と営業職員によるコンサルティングや、申込手続き時のサポートを組み合わせた「リモート申込」（非対面募集）を導入しました。この「リモート申込」により、非対面でのサービスを求めるお客さまに加え、遠方で直接対面が難しいお客さまなど、より多くのお客さまへの提案が可能となり、ご自身のスマートフォンやパソコンにて、いつでも、どこでも簡単にご契約の手続きを完了することができるようになりました。また、2024年8月には、AI技術を活用した携帯端末「T-AI-Face（ティーアイフェイス）」を導入しました。AIを活用した最適な保障プランのご案内、デジタル技術を活用した場所を問わない新たな提案手法を実現しています。

大同生命では、お客さま手続きの利便性向上のため、お客さまご自身のスマートフォンやパソコンで各種手続きが行える「つながる手続」*や、TV電話を通じて医師による診査を受けられる「リモート診査」を導入しています。

* 保険加入、保険金・給付金請求、解約請求、契約者貸付・貸付金返済に関するお手続きが可能です。今後も、ご加入からお受け取りまでのすべての場面において、より質の高い顧客体験をお届けできるよう取り組んでまいります。



T&Dフィナンシャル生命では、2024年2月より「AIファンド予測サービス」を提供しており、「ハイブリッドシリーズ」の特別勘定について、AIによるユニットプライスの変化率（対前月末）の予測をご覧いただけるようになりました。

Voice 従業員の声

非対面でも、変わらぬご提案品質を届ける



こいずみ りょうへい
小泉 遼平
太陽生命保険株式会社
営業企画部営業企画課

今回開発した「オンライン面談」および「デジタル提案書（リモート申込）」は、お客さまのニーズに合わせ、非対面でも“対面と同等”の保険提案を実現するというコンセプトで導入しました。いずれも、地理的・時間的な問題で直接お会いすることができないお客さまにも、保険提案から申込み手続きまで、全てを非対面で完結できる仕組みです。近年、社会環境の変化のスピードは目まぐるしく、特に新型コロナウイルスの流行後、非対面のサービスは当たり前になりました。今後はIT技術の更なる進化により、社会環境の変化は加速していくと考えています。これからもお客さまのニーズにお応えし、社会環境の変化に対応したサービスの開発に取り組んでまいります。

Voice 従業員の声

AIのチカラで次の安心を導く



かわた ししか
川田 史崇
T&Dフィナンシャル生命保険
株式会社
DXシステム統括部
DX戦略推進課

2024年2月から当社Webサイトにおいて公開している『AIファンド予測サービス』は経済指標等のデータをもとに、主力商品である変額保険「ハイブリッドシリーズ」の特別勘定（ファンド）のユニットプライスの値動きを予測するサービスです。お客さまと代理店さま、代理店さまと当社営業担当者のコミュニケーションツールとして運営しています。開発にあたっては、お客さま・代理店さまにわかりやすいデザインを心がけました。また、AIの予測とあわせて注目指標を表示することで透明性を高める工夫をしています。今後もお客さまや代理店さまに新しい価値をご提供するサービス開発に取り組んでまいります。

多様な人材が活躍できる環境づくり

すべての人の人権を尊重するとともに、従業員の人格と多様性を尊重し、健康で安全に働ける環境を確保することにより、人材育成を図ります。

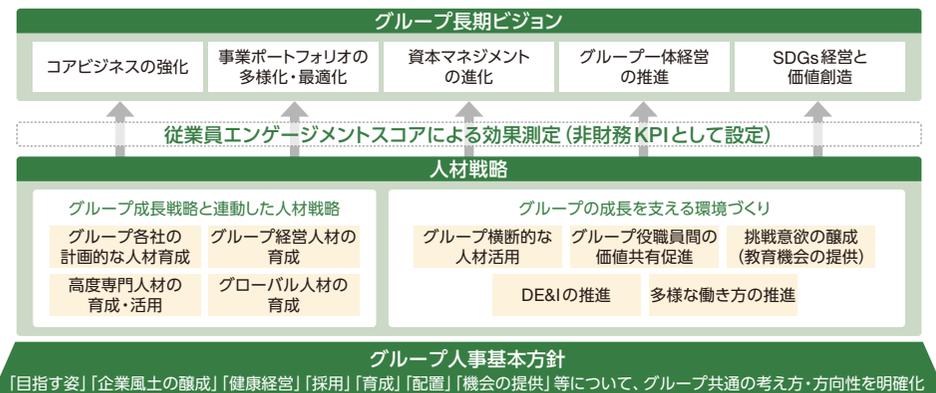
人的資本経営

●当グループの人材に対する考え方

当グループは、“共に働く「人材」こそが、グループ経営理念*の実現に向けた事業活動を担う、最も大切にすべき最大の原動力である”と位置づけ、「グループ人事基本方針」を制定しています。事業ポートフォリオの多様化・最適化のためには、生命保険事業領域以外での高度専門人材の確保・育成が求められており、2025年度より、外部労働市場からの採用力強化とキャリアパスの明確化を目的としたT&Dホールディングスの人事制度を導入しました。グループ間の人材流動化や協働も進め、全従業員が活躍できる環境を整備することで、持続的成長と新たな価値創造を目指しています。

グループの全従業員が、業務を通じ自身の成長を実感し、自身の持つ能力を最大限に発揮し、自身の可能性に挑戦できる、そして、グループの一員であることの誇りと責任を持てるグループを目指していきます。

※「Try & Discover (挑戦と発見) による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。」



●グループ長期ビジョンと連動したグループ人材戦略

グループ長期ビジョン実現に向け、人材戦略を経営の重要要素と位置づけ、「グループ人的資本向上委員会」を設置し、人的資本面での一体経営を推進しています。また、「グループ人事基本方針」に基づく施策として、従業員の声を反映するため、毎年「従業員エンゲージメントスコア」の調査を実施し、その結果を開示しています。

●自社株を活用した従業員の株主意識・グループ意識の醸成

当グループは2024年度より株式付与ESOP信託を導入し、従業員にポイントに応じた株式を交付する制度を開始しました。さらに2025年度からは、従業員持株会の特別奨励金付与率を従来の2倍となる10%に引き上げました。これらの施策を通じて、従業員の株主意識とグループ意識の醸成を図り、企業価値の向上を目指しています。

●成長の機会を提供する取組み

生命保険3社では、OJTや集合研修、自己啓発支援、リスキリングを柱とした教育研修を実施しています。資格取得支援や多様な学習コンテンツを提供し、従業員の自律的なキャリア形成を図るとともに、自身の役割への理解ややりがいを高めるために目標管理制度や360度評価制度等を導入し、人材育成とキャリア開発を推進しています。

●人事ローテーションによるキャリア開発促進

当グループでは、従業員が能力を最大限に発揮できるよう、個々のキャリア志向や能力・適正を踏まえた計画的な異動を実施し、若手層や管理職層への育成支援に加え、専門部署への配属や育成計画による知識習得につなげています。また、グループ内の異動や人材交流を通じて、人材の流動化とノウハウやスキルの共有も促進しています。

グループ人材交流

期・年度	第1期		第2期							
	2008年～2012年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
形態／交流者数	1～2年間の出向 (長期交流)		37名	42名	1カ月以下の短期研修形式を新設			40名	92名	117名
					新型コロナウイルス感染症防止のため未実施					

多様な人材が活躍できる環境づくり

多様性への取組み

●女性の活躍を支援する取組み

当グループでは、多様な人材が働きがいを持ち、能力を最大限に発揮できる企業風土の醸成を推進しています。中でも女性の活躍は持続的な企業価値向上の源泉であり、重要な経営課題と位置づけています。生命保険3社では、育児・介護との両立支援制度や人事制度の見直しを進め、男性の育児休業取得促進や労働時間の短縮にも取り組んでいます。さらに、2027年に女性管理職比率25%、2030年に30%という目標を設定し、計画的な管理職登用人材の育成に取り組んでいます。女性管理職比率の向上は、管理職における男女構成の偏りを是正し、男女間の賃金差異の解消にもつながっています。

女性管理職登用に関する目標(達成期限)



女性管理職比率の推移(生命保険3社合計)



●LGBTQ+フレンドリー

当グループでは、グループ人権方針において人権尊重の基本的考え方を表明し、従業員一人ひとりが自己の能力を十分に発揮できる職場環境の整備に努め、LGBTQ+に関しても、研修の実施等取組みを進めています。生命保険3社では、パートナーシップ証明書等の提出により同性パートナーを保険金・給付金の受取人に指定可能としています。大同生命では休暇・福利厚生制度において、同性パートナーを配偶者とみなして取り扱っており、性的マイノリティーの従業員からの相談や照会を幅広く受け付ける「LGBTQ相談窓口」を設置しています。

●障がい者雇用

2025年3月末時点で、生命保険3社の障がい者雇用数は合計420名、雇用率は2.57%です。障がいのある従業員が安心して働ける環境づくりのため、入社前には職場見学会や就労支援員の面接同席を推奨するほか、入社前後のミスマッチを防ぐために、職場見学会を実施しています。入社後は専用機器の導入や通勤経路の配慮、ジョブコーチの派遣など、会社全体で支援体制を整えています。今後も多様な障がい者が活躍できる職場づくりと就労機会の拡大に取り組んでいきます。

●シニア層の活躍推進

生命保険3社では、定年退職者を対象に再雇用制度を導入しています。また、働き方改革推進の観点から、グループとして高齢者の活躍推進に取り組んでおり、各社の状況に応じてさまざまな制度を導入しています。

働きやすい職場環境

●ワーク・ライフ・バランスへの取組み

当グループでは、家事・育児・介護などの両立を支援し、従業員が能力を発揮できる環境づくりのため、法令基準を上回る休業・休暇制度や短時間勤務制度に加え、フレックスタイムやリモートワークなど柔軟な働き方を導入しています。また、病気治療との両立支援や復職支援、配偶者転勤時のキャリア継続支援制度も整備し、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指しています。

●従業員の声を反映させる取組み

「人材」を当グループが安定的・持続的に成長していくための最大の原動力と位置づけ、従業員の貢献意欲や働きがいの向上に取り組んでいます。変化の激しい時代においては、自律的な行動がより重要となるため、これまで以上に働きがい創出による従業員の主体的な行動が重要になっています。こうした現状を踏まえ、生命保険3社を含む子会社の従業員を対象に、非財務KPIの一つである従業員エンゲージメント調査を実施しています。

従業員エンゲージメントスコア(5段階評価)



* 生命保険3社平均

●健康経営の取組み

当グループでは、従業員と家族の健康を重視し、安心して生き活きと働ける職場づくりを推進しています。労働時間の縮減や疾病予防、メンタルヘルス対策などによる健康経営強化に取り組む、ストレスチェックの導入や高ストレス者への医師の紹介などの体制も整えています。また、各社で集団分析を実施し、職場環境の改善に役立てています。これらの取組みにより、生命保険3社は「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。



地球環境保全・気候変動の緩和と適応への貢献

お客さまに保険商品・サービスを提供する自らの事業活動を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献し、ネットゼロ社会の達成、生物多様性の保全にも取り組みます。

TCFDに基づく気候関連財務情報の開示

気候変動は地球規模の課題であり、その影響は世界の経済行動と社会の変化を通して人々の暮らしに大きな影響を及ぼします。T&D保険グループはTCFDの提言に賛同を表明するとともに、わかりやすい気候関連財務情報の開示に積極的に取り組んでいきます。

●ガバナンス

取締役会は、下部組織としてグループサステナビリティ推進委員会を設置しています。同委員会では代表取締役社長が委員長を務め、SDGsなど地球環境や社会的課題に関する基本方針・気候変動対応の目標と取組施策を定めています。取締役会の監督を受けており、半期ごとに取組状況のモニタリングを実施し、取締役会に報告しています。グループサステナビリティ推進委員会は、下部機関として「サステナビリティ・アドバイザリー・コミッティ」「サステナビリティ推進専門部会」「ESG投資専門部会」「ソーシャルインパクト検討部会」を設置しています。

●戦略

気候変動リスク（物理的リスク*1・移行リスク*2）により生じる当グループへの影響を検証するため、「1.5℃シナリオ」「4℃シナリオ」をベースに分析を実施しました。

*1 台風や洪水など異常気象による自然災害や、平均気温上昇や海面上昇などによりもたらされる事業上のリスク

*2 低炭素・脱炭素社会に移行（温室効果ガス排出量を大幅に削減）するための、行政・企業・消費者の行動によりもたらされる事業上のリスク

■当グループの事業機会

地球温暖化により疾病発生率や平均寿命が変化する場合、新しいリスクに備える保障（死亡・年金・医療）へのニーズが生じることが想定されます。ニーズに応える保障範囲の拡大・提供等により保険収益を拡大する機会があります。

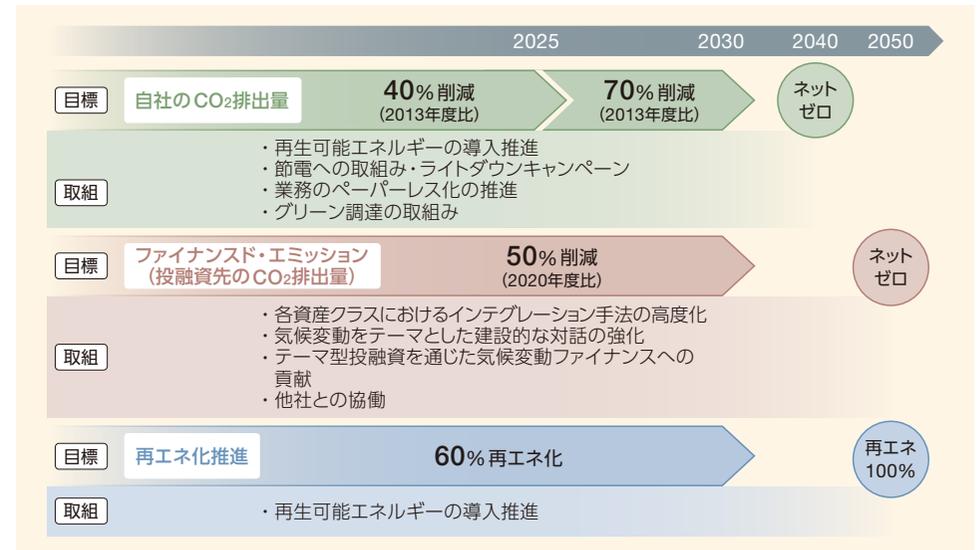
●リスク管理

当グループではリスクの多様化・複雑化に対応するため、リスクプロファイルを用いてグループを取り巻くリスクを網羅的に整理し、必要に応じ経営計画等への反映を行います。気候変動関連リスクについても管理すべき重要なリスクとしてリスクプロファイルに登録し、リスクの洗い出しとリスクの把握、評価を行っています。リスクプロファイルは年2回見直しを行っており、グループリスク統括委員会および取締役会に報告しています。

●指標と目標

グループとしての環境保護関連の目標を設定し、毎日の事業活動の中でその達成に向けた取組みを進めています。目標は、「CO₂排出量の削減」「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の4つです。その成果は毎年計測し、各種レポート・ホームページ上で開示しています。

■ネットゼロ達成に向けたロードマップ



森林保全活動

●「太陽生命の森林」における森林保全活動 太陽生命

太陽生命では、国内3カ所に「太陽生命の森林」を設置し、社員の手による森林保全活動を展開しています。

・太陽生命の森林（栃木県那須塩原市）（2006年3月設置）

塩那森林管理署ほかの協力を得て、間伐や林道整備などを行っています。また、公益財団法人日本ダウン症協会のご家族をお招きして、「森林教室」を開催しています。

・太陽生命くつきの森林（滋賀県高島市）（2007年11月設置）

NPO法人麻生里山センターと連携し、アカマツ林の保全やビオトープ整備などを行っています。さらに地元小学校と協働し、どんぐりから苗木を育てて卒業時に植樹を行う「どんぐりプロジェクト」を実施しています。これらの取組みが評価され、2023年10月には環境省より「自然共生サイト」に認定されました。

・太陽生命の森林 上山市西山エリア（山形県上山市）（2024年6月設置）

西山ふるさと公園管理協会の協力を得て、遊歩道の整備やホテルの生息地の環境整備などを行っています。



設置森林名	太陽生命の森林（栃木県）	太陽生命くつきの森林（滋賀県）	太陽生命の森林 上山市西山エリア（山形県）
設置年月	2006年3月	2007年11月	2024年6月
面積	約4.8ha	約12.7ha	約8.0ha
CO ₂ 吸収量	18t（林野庁評価）	87t（高島市評価）	—

環境教育・啓発

●環境教育・啓発

T&Dホールディングスでは、UNEP（国連環境計画）機関誌の日本語版「UNEP FORUM 国連環境計画（UNEP）と企業を結ぶ環境情報誌」を制作している一般社団法人地球環境情報フォーラムの活動に協賛しています。本誌はT&D保険グループ各社のほか、地方の小学校・中学校・高校、公共図書館などに広く配布され、環境意識啓発に役立てられています。



■環境教育プロジェクト「地球教室」への特別協賛 太陽生命

太陽生命では、次世代を担う小学生を対象とした環境教育プロジェクト「地球教室」（朝日新聞社主催）に特別協賛しています。本プロジェクトは、環境問題やSDGsに関するテキストを小学生向けに無料配布するとともに、出張授業などを通じて環境への理解を深め、日常生活の中で地球環境の保護の大切さを意識してもらうことを目的としています。また、環境教育イベント「かんきょう1日学校」では、小学生約120名に対して授業を実施し、さらに東京都内の小学校を訪問し、30名の生徒を対象に出張授業を行いました。授業では「地球のために何ができるか考えよう」をテーマに、「太陽生命の森林」における森林保全活動を取り上げ、児童たちの環境保全への意識醸成に貢献しました。



投資を通じた持続可能な社会への貢献

責任ある機関投資家として、環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、長期安定的な収益の確保と持続可能な社会の実現に貢献し、社会とともに持続的に成長することを目指します。

責任ある機関投資家としての取組み

T&D保険グループはすべての運用資産の運用方針・運用プロセスにおいて、保有資産の特性等に依りて ESG 課題を考慮するとともに、さまざまな ESG 投資手法を導入しています。

具体的には、投資判断に際して ESG 等の非財務情報を活用する「インテグレーション」や、ESG 面から好ましくないかと判断する企業・事業等への投融資を禁止する「ネガティブスクリーニング」等の手法を、資産特性に応じて採用しているほか、ESG 課題の解決に資するテーマへの投融資（テーマ型投融資）も拡大しています。

また、投融資先企業が抱える ESG 課題に関する建設的な対話（エンゲージメント）を通じて、投融資先企業の中長期的な成長も支援しています。

ESG 投融資の活動

ESG 投融資の活動	具体的内容	
投資判断への ESG 要素の反映	資産運用プロセスにおける ESG 課題の活用（インテグレーション）	投融資判断の際に、投融資先企業の財務情報に加え、ESG 等の非財務情報に関する分析・評価を取り入れる
	ネガティブスクリーニング	人道上の懸念・化石燃料の大量消費等、ESG の観点から好ましくない企業・事業を投融資対象から除外する
	テーマ型投融資	気候変動の適応・緩和、地域の発展などの ESG の課題を考慮し、持続可能な社会の実現に貢献できるテーマを持った投融資に取り組む
スチュワードシップ活動	投融資先企業との継続的な対話	サステナビリティに関する課題も踏まえた「目的を持った対話」を通じて、投資先の企業価値向上および持続的成長を促す
	議決権行使	議決権行使にあたり、財務情報等に加え、ESG 等の非財務情報も踏まえ、賛否を判断するよう努める

●資産運用プロセスにおける ESG 等の非財務情報の活用（インテグレーション）

太陽生命・大同生命は、投融資判断の際に、投融資先企業の財務情報に加え、ESG 等の非財務情報に関する分析・評価を取り入れることで、長期的な投資成果の向上とともに、持続可能な社会の実現に向けた機関投資家としての使命を果たすよう努めています。

●ネガティブスクリーニング

ESG の観点から好ましくない企業・事業を投融資対象から除外する、ネガティブスクリーニングの手法を導入しています。

■非人道的兵器製造企業の排除

人道上の懸念が大きいことを踏まえ、特定の兵器製造企業（クラスター爆弾、生物・化学兵器、対人地雷、核兵器等の製造企業）への投融資を禁止しています。

■環境負荷の大きい事業への投融資姿勢

化石燃料の消費は、気候変動や大気汚染などの環境問題に重大な影響を与える主要な要因の一つであり、当グループは、石炭火力発電事業や石炭採掘事業への新規の投融資を実施しない方針としています。また、気候変動や生態系への影響が大きい北極圏（北緯66度33分以上の地域）における石油・ガス採掘事業や、伝統的な石油と比較して抽出・精製時の環境負荷の大きいオイルサンド採掘事業についても、新規投融資を実施しない方針としています。

●テーマ型投融資

太陽生命・大同生命・T&Dフィナンシャル生命の3社は、ESG の課題を考慮し、持続可能な社会の実現に貢献できるテーマを持った投融資に取り組んでいます。テーマ型投融資の取組累計額は2024年度末時点で11,000億円となりました。

テーマ型投融資累計額



投資を通じた持続可能な社会への貢献

脱炭素社会への貢献

●ファイナンスド・エミッション (投融資先のCO₂排出量) 削減目標

T&D保険グループは、責任ある機関投資家として、ファイナンスド・エミッションについて右記のとおり排出量削減目標を設定しています。

T&D保険グループ CO₂排出量削減目標

2030年度	50%削減(2020年度比)
2050年度	ネットゼロ

* 太陽生命、大同生命の保有資産のうち、国内上場企業が発行する株式・社債・融資が対象
削減目標は、原単位(投資額当たりのCO₂排出量)で設定

国内上場企業発行の株式・社債・融資を対象としたCO₂排出量の推移



●目標達成に向けた取組み

太陽生命・大同生命では、気候変動への対応として、CO₂排出量の多い投融資先との建設的な対話(エンゲージメント)を継続し、排出削減目標やロードマップの開示を要請しています。進捗状況の意見交換を通じて、認識の共有と長期的な支援を図るとともに、脱炭素をテーマとするファイナンス案件への取組みを通じて、資金面からも企業の脱炭素化を後押ししています。また、「グリーンファイナンス」や「トランジションファイナンス」など、脱炭素を目的とした資金提供にも積極的に取り組んでいます。CO₂排出量の多い企業への投融資は一時的にポートフォリオの排出量を増加させる可能性があります。長期的には企業の脱炭素化を促進し、社会全体のネットゼロ達成に貢献できると考えています。今後も投資の実効性を重視し、テーマ型投融資を推進していきます。

スチュワードシップ活動

●投融資先企業との継続的な対話

■太陽生命・大同生命

太陽生命・大同生命は、国内の上場企業や事業債発行体をはじめとする投融資先に対し、中長期的な視点での企業価値向上および持続的成長を促すため、サステナビリティに関する課題も踏まえ、建設的な「目的を持った対話」を通じて、投融資先企業との認識の共有を図るよう努めています。2024年7月から2025年6月において、太陽生命は延べ248社、大同生命は延べ157社と対話の機会を持ちました。

また、議決権行使にあたっては、投資先企業との積極的な対話を通じて、経営状況の確認や課題認識の共有を図ることで、株主価値向上に資する取組みを継続的に行っていきます。

■T&Dアセットマネジメント

T&Dアセットマネジメントでは、企業との個別面談やスモールミーティング等の機会に、事業戦略、資本効率、環境、社会、ガバナンス等の視点からその持続的な成長を促すよう建設的な対話を行っています。2024年7月から2025年6月にかけて延べ555社と対話を実施しました。

Voice

従業員の声

中長期視点の対話で企業の持続的成長を後押ししています



やない みなこ
柳井 美奈子
T&Dアセットマネジメント
株式運用部責任投資推進室
ESGアナリスト

私たちは投資運用会社として、お客様の長期的な利益を最優先に考え、中長期的な視点から企業価値を高め、持続的成長を促すことを目的として、投資先企業との対話に臨んでいます。経営戦略やESGを考慮した対話テーマを設定し、継続的に対話を行う投資先については、課題解決の進捗をマイルストーン管理することでエンゲージメントの実効性を高めています。また、協働エンゲージメントプラットフォームの「Climate Action 100+」へ参加するなど、他の機関投資家と連携することで企業への影響力を高める取組みも行っています。こうした一つひとつの対話を大切にしながら、投資先企業との信頼関係を築き、持続的な企業価値の向上に貢献したいと考えています。

社会活動

T&D保険グループは、公共性の高い生命保険業を営むグループとして、社会活動や環境保護に積極的に取り組んでいます。従業員の自主的な社会貢献活動の支援に加え、財団を通じた支援も行い、「健康と福祉の向上」、「健全な社会の発展」、「社員参加型の社会貢献活動の推進」などの分野で活動しています。



健康と福祉の向上

太陽生命

●公益財団法人日本ダウン症協会への支援●

太陽生命は、2006年から公益財団法人日本ダウン症協会の賛助会員として活動を支援しています。日本ダウン症会議・世界ダウン症の日キックオフイベントへの寄付、ダウン症支援セミナーの会議室の提供のほか、太陽生命が栃木県那須塩原市に設置している「太陽生命の森林^{もり}」で実施する「森林教室」に同協会栃木支部所属のご家族をお招きして、野点・ヨガ体操など社員の手づくりイベントを楽しんでいただくなど、さまざまな交流を通じて活動を支援しています。



*「森林教室」は、2024年11月に「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

大同生命

●障がい者スポーツの支援●

大同生命は、創業90周年を迎えた1992年の第1回「全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)*」以来、毎年、「全国障害者スポーツ大会」に特別協賛しています。

*「全国知的障害者スポーツ大会」は、2001年に「全国身体障害者スポーツ大会」と統合され「全国障害者スポーツ大会」となりました。



障がいのある選手がスポーツを楽しみながら活躍する姿を通じて、障がいへの理解を広げ、社会参加を支援しています。大会では、参加選手などとの交流の場である「おもてなし広場」に障がい者スポーツ体験や無料ゲーム等で楽しめる専用ブースを設置し、大同生命をはじめ、太

陽生命や提携団体などの役職員がボランティアとして活動しています。2024年は、佐賀県で第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024全障スポ」が開催されました。また、2015年1月から公益財団法人日本パラスポーツ協会のオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツのより一層の普及・発展に向けた取り組みを行っています。

T&Dフィナンシャル生命

●「日本ろう者サッカー協会」とオフィシャルパートナー協定を締結●

T&Dフィナンシャル生命は、2018年6月より一般社団法人日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結しています。同協会のオフィシャルパートナーとして、ろう者サッカー・フットサル活動のサポートや障がい者スポーツの振興を通じて、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及に貢献していきます。



健全な社会の発展

●経済的理由で修学困難な学生への就学支援(基金*の設立)●

T&Dホールディングスは、2024年12月に「T&D保険グループ学生応援基金～Try&Discoverな人生に。～」を設立しました。



本基金では、病気・事故等で保護者を失った学生が安心して大学生生活に集中できるように学期間(最長4年間)を通じ、毎年奨学金を支給いたします。学生の経済的負担を軽減することで、夢への「Try&Discover」を後押ししてまいります。

*本基金は、公益財団法人日本フィナンロピック財団が設定・運営しています。



社会活動

ペット&ファミリー損害保険

● 課外授業の実施 ●

ペット&ファミリー損害保険では、人とペットの豊かで平和な暮らしを実現するという目標に向け、東京都台東区教育委員会の「学びのキャンパスプランニング」事業に参画し、小中学校および保育園・幼稚園で課外授業を行っています。「ペットと人の共生」を共通テーマに、子供たちの年齢に応じて、「ペットと人の幸せな暮らし」「犬や猫の気持ちを理解する」「犬や猫のからだの仕組みや病気・医療を学ぶ」などの授業プランを提供しています。



社員参加型の社会貢献活動の推進

● ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用した清掃活動 ●

T&D 保険グループでは、社会課題解決に向けた取組みの一環として清掃活動を推進しています。2023年7月からは、ピリカ

社のごみ拾いSNS「ピリカ」を利用し、ごみ拾い活動の活性化、定量化を図っています。2024年度は、T&Dホールディングス設立20周年施策として「T&Dクリーンプロジェクト」と称し、荒川河川敷にてクリーンアップイベントを開催しました。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ



大同生命

● ウォーキングキャンペーンを通じた社会貢献活動 ●

中小企業の健康経営実践支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」の利用者を対象としたウォーキングキャンペーンと連動し、参加者の歩数に応じた寄付を実施しています。2024年度は、「認定NPO 法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ」への寄付を実施しました。(画像提供:認定NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ)



● 被災地への支援 ●

大規模災害などの発生にあたっては、T&D保険グループまたはグループ各社において義援金の寄付や復旧作業の協力などの支援を行っています。

東日本大震災においては、震災発生直後よりグループの役職員を被災地へ派遣し、瓦礫撤去や支援物資の搬入などの活動を行ったほか、個人宅や寺院の復旧作業の協力などの支援活動を行いました。その後も令和6年能登半島地震の被災地への義援金の寄贈など、幅広い支援活動を継続しています。

● 被災地応援マルシェ(物産展) ●

太陽生命では東日本大震災以降、宮城県石巻市および福島県に対して、物産展などを通じた支援活動を継続しています。2024年度には能登半島地震で被災された能登地域も加えた被災地応援マルシェ(物産展)を開催しました。物産展にはT&D保険グループ各社の役職員も来場され、グループ全体で一体となって取り組む姿勢がグループ一体経営にもつながっています。



外部よりいただいた評価

ESG評価機関からの評価 (2025年7月1日現在)

国際株式インデックス



FTSE4Good



MSCI Selection Indexes logo disclaimer: THE INCLUSION OF T&D Holdings, IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF T&D Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES

国内株式インデックス



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2025 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

主な受賞・表彰 (2024年度)

- 経済産業省 / 「健康経営優良法人ホワイト500」認定
- work with Pride / 「PRIDE指標2024」Gold受賞
- 総務省 / 「テレワークトップランナー2024」受賞
- HDI-Japan/HDI 五つ星認証プログラム コールセンターが「五つ星認証」を取得
- HDI-Japan/HDI 格付けベンチマーク「クオリティ格付け」電話対応窓口(お客さま、代理店) 最高評価「三つ星」獲得
- 一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 / 「UCDAアワード2024」[総合賞(シルバー)]を受賞

T&D保険グループが賛同し支持する原則

国連グローバル・コンパクト 	PRI 	Signatory of: Principles for Responsible Investment
Spring 	Advance 	
インパクト志向金融宣言 インパクト志向金融宣言 Japan Impact-driven Financing Initiative	持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則 (21世紀金融行動原則) 	
TCFD 	RE100 	CLIMATE GROUP CDP
Climate Action 100+ A proud participant of: 	TNFD 	Taskforce on Nature-related Financial Disclosures

株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL:03-3272- 6324 (代)
<https://www.td-holdings.co.jp/> mail:csr@td-holdings.co.jp



見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

2025年9月